

正しく学ぶことによって、人にも自然にも、自分を取り巻くあらゆる事に優しくなる——学優舎は、そんな心の優しさを築く学びこそ、他者の幸せと自分の幸せが織りなす豊かな未来を創る礎と考えています。「未来を自ら切り開くイノベーター、主体的に生きる人材の育成」を理念に、創造力・思考力そして表現力を、受験指導・学習指導を通して鍛えていく学び舎として、1991年にこの沼津花園の地でスタートしました。

いまの子どもたちの多くが22世紀を経験します。子どもたちが生きる未来はどのような社会でしょうか。新しい技術が目にも止まらないスピードで社会を変え、進化を止めないAIがあらゆる場に入り込む。そんな社会で人間らしく生きていくためには、感性に基づく直感力、バランスの取れたライフデザイン力、知を再編集できる創造力が今以上に必要とされるでしょう。たとえどのような社会であっても、子どもたちには、自分らしい生き方を自己実現して欲しいと心から願います。



## 代表 土屋 肇

株式会社Gakuyou 代表取締役

Give it a try.

—まずはやってみよう。

Think out of the box.

—型にはまらず、自由に考えよう。

Fail forward.

—明日のために失敗し、そして前に進もう。

これは学優舎の全学年、全職員のステートメントです。この主体的な行動力が、生涯にわたる財産として解無き時代を生きる力になるのだと考えています。

受験指導塾ですから、第1志望の学校に合格していただくことは塾の使命です。しかし学優舎は合格をゴールとは考えていません。合格を次のステージへのスタートと考え、「学び方」に徹底的にこだわります。学ぶ姿勢の基礎は「挨拶」から始まります。どの学年の授業も常に「問い合わせ立てること」からイメージを膨らませ、考えさせ、表現させ、発言させながら主体的に学ぶ力、生きる力を育てる。それが学優舎の使命です。そしてその「学び方」は、一生のスキルになるはずです。

最後に、学優舎にとって大事な言葉をひとつ紹介いたします。「不東」という言葉です。玄奘三蔵が遺された言葉で、奈良・薬師寺の北西にある玄奘三蔵院の入り口に大きく掲げられています。「何事があっても搖るがず、目標に辿り着くまでは努力精進する」という意味です。この言葉を心に日々自分の目標と向き合う、学びのコミュニティが学優舎です。

ぜひ私たちの学び舎にご参加ください。お待ちしております。

2022年2月18日 学優舎 代表 土屋肇